



稲津 ひさし  
いなつ 久 <現>

北海道10区

■夕張市、岩見沢市、留萌市、美瑛市、芦別市、赤平市、三笠市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、南幌町、奈井江町、上砂川町、由仁町、長沼町、栗山町、月形町、浦臼町、新十津川町、妹背牛町、秩父別町、雨竜町、北竜町、沼田町、増毛町、小平町、苫前町、羽幌町、初山別村、遠別町、天塩町、幌加内町、幌延町

1958年生まれ。53歳。専修大学卒。道議3期。衆院当選1回。党中央幹事。党北海道本部代表。

- 現場第一主義と抜群の行動力で、旧産炭地の医療を担う自治体病院の再建へ「特例債」の創設、小規模福祉施設へのスプリンクラー設置基準の見直しなど、「いのちを守る」実績を積み上げてきた。
- 「食」の魅力を生かした産業振興などを掲げ、活力あふれる北海道をめざす。

<http://www.inatsu.com>



おおた 昭宏  
太田 あきひろ <前>

東京12区

■北区全域 ■足立区西部(入谷町、入谷1~9丁目、扇1~3丁目、興野1~2丁目、小台1~2丁目、加賀1~2丁目、江北1~7丁目、血沼1~3丁目、鹿浜1~8丁目、新田1~3丁目、椿1~2丁目、舎人公園、舎人町、舎人1~6丁目、西新井栄町3丁目、西新井本町1~6丁目、堀之内1~2丁目、宮城1~2丁目、本木北町、本木西町、本木東町、本木南町、本木1~2丁目、谷在家2~3丁目)

1945年生まれ。66歳。京都大学。同大学院修了。衆院当選5回。党前代表。全国代表者会議議長。

- 耐震・防災の即戦力。地震対策の専門家。
- 公明新聞記者時代に培った現場第一主義で、大地震のたび現地に急行し陣頭指揮。
- 初動対応の迅速化へ震度観測点の増設を訴え、阪神・淡路大震災当時160力所が4200力以上に。
- 「子どもの安全なくして地震対策なし」と学校耐震化を促進。

<http://www.akihiro-olta.com>



うえだ 勇  
上田 いさむ <前>

神奈川6区

■横浜市保土ヶ谷区  
■横浜市旭区

1958年生まれ。53歳。東京大学農学部卒。農林水産省。米国コーネル大学大学院経営学修了。衆院当選5回。財務副大臣。党神奈川県本部代表。

- 財務副大臣として経済・財政・金融政策に尽力。
- アレルギー対策では関連予算を大幅に拡大させたほか、相鉄線のJR乗り入れと高架化、保土ヶ谷バイパスの消音舗装化などを推進。

<http://www.isamu-u.com>



さとう 茂樹  
佐藤 しげき <現>

大阪3区

■大阪市大正区 ■大阪市住之江区  
■大阪市住吉区 ■大阪市西成区

1959年生まれ。52歳。京都大学法学部卒。衆院当選6回。党政務調査会長代理。党大阪府本部代表。

- 国土交通大臣政務官として大阪港をスーパー中核港湾に。
- 文部科学委員長時に地震防災対策特措法を改正、学校の耐震化を加速。
- 再生可能エネルギー法、仮払い法、海賊対処法の成立。
- 中小企業・外交・安全保障政策、政治改革に取り組む。

<http://sato-shigeki.com>



くにしげ 徹  
国重 とおる <新>

大阪5区

■大阪市淀川区 ■大阪市東淀川区  
■大阪市西淀川区 ■大阪市此花区

1974年生まれ。37歳。創価大学法学部卒。弁護士。大阪弁護士会「子どもの権利委員会」委員。党青年局次長。

- 「苦しみ悩む人の最大の味方に」をモットーに、中小企業や庶民に寄り添う弁護士活動を展開。
- 「子どもの人権110番」を担当。いじめや不登校などにも取り組む。
- 希望の未来を切り開くため、セーフティネットの構築、中小企業の活性化、子育て支援強化などをめざす。

<http://www.kunishige-toru.com>



いさ しんいち  
いさ 進一 <新>

大阪6区

■大阪市旭区 ■大阪市鶴見区  
■守口市、門真市

1974年生まれ。37歳。東京大学工学部卒。米ジョージア・インスティテュート・オブ・テクノロジー大学院修了。科学技術庁(当時)に入庁。文部科学省副大臣秘書官。党青年局次長。同国際局次長。

- 庶民の町・大阪府守口市で育ち。東大で航空宇宙工学を学ぶ。
- 文部科学省で惑星探査機「はやぶさ」の予算折衝など、科学技術政策に携わる。
- 在中国大使館に一等書記官として赴任し、科学技術の分野での、日中協力を推進。

<http://isa41.net>



きた 側  
北がわ さく **北がわ** 一雄 <前>

大阪16区

■堺市堺区 ■堺市東区  
■堺市北区

1953年生まれ。58歳。創価大学法学部卒。弁護士。税理士。衆院当選6回。元国土交通大臣。観光立国担当大臣。党副代表。

- 国土交通大臣時代に、中越地震、JR福知山線脱線事故、耐震偽装事件に対し、迅速な危機対応が高く評価された。
- 関西国際空港の完全24時間化、阪神港をはじめスーパー中核港湾の推進など、国際競争力強化に努める。
- 堺臨海部開発や大和川の水環境改善を推進。

<http://www.kitagawa-sakai.jp/>



あかば 一嘉  
赤羽 かずよし <前>

兵庫2区

■神戸市兵庫区 ■神戸市北区  
■神戸市長田区

1958年生まれ。53歳。慶應義塾大学法学部卒。衆院当選5回。財務副大臣。衆院国土交通委員長。同災害対策特別委員長。党税制調査会長代理。党兵庫県本部代表代行。

- 阪神・淡路大震災の政府の対応への怒りと執念で、「改正被災者生活再建支援法」の成立を勝ち取る。
- 党東日本大震災対策本部事務局次長として奮闘。
- 交通バリアフリー法の制定や奨学金制度の改革など、震災復興と安全・安心の街づくりを実現。

<http://www.akaba-now.com>



なかの 洋昌  
中野 ひろまさ <新>

兵庫8区

■尼崎市全域

1978年生まれ。33歳。東京大学教養学部卒。米コロンビア大学大学院修了。元国交省課長補佐。党青年局次長。

- 関西創価学園出身。米コロンビア大で公共政策を学ぶ。
- 「暮らしの感覚」と「世界的な視野」を併せ持つ。
- 国交省では、緊急地震速報の導入に尽力。
- 東日本大震災では救援物資の輸送に奔走。
- 「アジア圏版Suica、ICOCA」など斬新なビジョンを提唱。

<http://www.nakano-hiromasa.com>

